# ICLシステムの概略

#### ● ICLシステム利用者用端末



### 情報教育システム(ICL) 簡易ガイド (ティーチング・アシスタント向け)

#### 2025年度版

このガイドは、マルチメディア教育研究棟のICL演習室で実施される 授業でティーチング・アシスタント(TA)として勤務する大学院学生 向けの情報教育システムに関するガイドです。 ティーチング・アシスタントの職務に関する一般的な留意事項は、

『全学教育科目ティーチング・アシスタント(TA)ガイドブック』の 当年度版を参照してください。

ICLシステムおよび認証系に関する詳細については

教育系情報システムオンラインガイド https://www.dc.tohoku.ac.jp/



をご覧ください。



・Rocky LinuxとWindowsの起動に必要なイメージは、端末内のディスクにキャッシュされています。

・どの端末からログインしても同じように利用できます。

- ・個人用ディスク容量は1GB/1ユーザです。
- ・プリンタはありません。

### ICL演習室の自習利用

授業等で使用されていないICL演習室は自習利用できます。演習室の開室時間は データ駆動科学・AI教育研究センターのサイト https://www.cds.tohoku.ac.jp/ で確認できます。

### 授業で端末を使うための準備

①自分のユーザIDとパスワードの確認

ICLシステムの端末へのログインには、東北大IDと東北大IDパスワード (変更済の場合は変更後のパスワード)を利用します。

東北大IDおよび東北大IDパスワード(初期パスワード)は 「東北大ID確認ページ」または「東北大ID通知書」で確認できます。

初期パスワードについては、確認ページにアクセスしなくても各自の個人情報に 基づいて自分で算出できます。

(算出が必要な場合)算出方法は授業担当教員に問い合わせてください。

大文字・小文字の区別, i/l/1 等の紛らわしい文字の区別, 初期パスワード算出の計算ミスに注意!

②端末とディスプレイの電源を入れてログインする。

ログイン前にOSを選択します。(起動したいOSをダブルクリックする。)





端末やディスプレイの電源が入らない場合、本体背面の電源コネクタが 緩んでいないかどうか、確認してください。 原因が分からず、その場で対応不能な場合には、授業担当教員または データ駆動科学・Al教育研究センターのスタッフに連絡してください。

## パスワードの変更と管理

初期パスワードは最初のログイン時専用の一時的なものです。これはユーザの個人 情報を入手すれば誰でも算出可能な脆弱なパスワードなので、初回ログインに成功 した後は、直ちに変更する必要があります\*。

\*すでに変更済の場合は変更の必要はありません。

パスワード管理の大まかな手順
 ①東北大学SSOに接続する。
 https://slink.secioss.com/user/index.php?tenant=auth.tohoku.ac.jp
 ②ポータルサイトから「統合電子認証システム」に入る。
 ③「パスワード更新」メニューをクリックして画面の指示に従う。
 ④更新作業終了後,約30分程度で新パスワードが有効になる。



ICLシステムでは、東北大学における種々の情報システムに共通する認証基盤 である「統合電子認証システム」を使用しています。上記の手続でパスワード を変更すると、ICLシステム以外の情報システムにもその影響が及びます。

### その他の注意点・参考情報

- ・授業の進め方、教材作成補助業務、レポート採点補助業務などの詳細については、 各々の授業担当教員から説明を受けて、その指示に従ってください。
- ・システム関係の故障・トラブルについて、その場で対応できないと判断した 場合には、授業担当教員またはデータ駆動科学・AI教育研究センタースタッフに 問い合わせてください。
- ・ICLシステムや認証系の詳細については、下記資料を参考にしてください。 オンラインガイド https://www.dc.tohoku.ac.jp/
- ・データ駆動科学・Al教育研究センターのサイトも合わせてご覧ください。
   https://www.cds.tohoku.ac.jp/